

# 山口新聞

平成24年11月16日(金)

NO.31

農地・水・環境

## 守ろう地域の手に



③①

周南市東端の小松原地区 ところに農地がある。伏流は、山と島田川に囲まれた 水が豊富で水が枯れたこと

### 小松原環境保全会(周南市)

## 守ろう地域の環境は地域の手に

がないと言われ、水稲中心の営農を行っている。

しかし、農家の高齢化が進み農地を営農法人に預けるなどしており、年々農業者も減少。このままでは、農地ばかりか、地域の環境も守れないことから、農業者、自治会、農業法人を巻き込み2007年に小松原環境保全会を立ち上げた。

活動の中で、法人が中心となり毎年のように行っているのが、小学生を対象にした農業体験である。もっとらおと、春はサツマイモ

の植え付け、田植え、秋は芋掘り、稲刈り、餅つきを行っている。

特に田植えは、はだしで行っていて、ヒルや水生昆虫を見つけた時は「ワーワー」「キヤーキヤー」と、泥んこになりながらも大喜び。こうした子供たちの姿を目の当たりにし、まわりの大人たちも地域の環境を守り育てていくことの大切さを実感している。

本年度からは、老朽化した水路の改修など生産基盤の整備も進める。これからも地域の手で地域の農地、環境を守り育てるため、積極的に活動していきたい。

(代表、河谷勝美) 金曜日掲載

【XET】代表 河谷勝美 美△会員 125人、農業者、三丘土地改良区、9自治会、農事組合法人、下郷農業構造改善組合 設立 2007年9月 連絡先 周南市安田610の1、河谷さん ☎0833・91・1176



①会員の皆さん ②はだしで田植え体験する小学生たち

